

平成28年度ホタテガイ採苗通報(第5報)

平成28年5月10日



宮城県

気仙沼水産試験場 TEL:0226-41-0652 FAX:0226-41-0743
 E-mail:kssuisi@pref.miyagi.jp
 HP: http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kesenmuma-s/
 Facebook: https://www.facebook.com/kesuishi
 気仙沼地方振興事務所水産漁港部 TEL:0226-22-6852
 水産技術総合センター TEL:0225-24-0138
 県漁協各支部青年部・研究会

県北部全域(唐桑～歌津)で 採苗袋の投入時期になりました!

なお、採苗袋は多めに準備し、分散投入を心がけて下さい。

《調査結果の概要》 調査日:5月6日、9日、10日

- ・ 調査点の表層水温は10.6～11.6℃、10m水温は10.0～10.8℃で、先週からほとんど変化していません。
- ・ ホタテガイ浮遊幼生(10m層まで)は、只越(唐桑)で中小型(250ミクロン未満)66個(前回38個)、大型(250ミクロン以上)27個(前回1個)、気仙沼湾口部の岩井崎で中小型136個(前回49個)、大型26個(前回7個)、大島の大前見で中小型31個(前回13個)、大型6個(前回8個)、唐島で中小型18個(前回25個)、大型1個(前回2個)、蔵内(本吉)で中小型148個(前回27個)、大型14個(前回0個)、泊浜(歌津)で中小型408個、大型110個と、先週と比較し中小型・大型幼生ともにほとんどの調査点で大きく増加しています。
 なお、只越(唐桑)の20m層は、中小型17個(前回137個)、大型1個(前回12個)となり、先週まで深めの層に多く分布していましたが、今週は上層に分布しているようです。
- ・ また、試験採苗器(概ね1週間設置)には、只越10m層で408個(前回132個)、只越20m層で361個(前回216個)、岩井崎で312個(前回128個)と前回よりも大きく増加するとともに、蔵内で116個、泊浜で259個と県北部全域で多くの稚貝が付着しています。
- ・ なお、全調査点でムラサキガイ等の雑貝幼生が多く、試験採苗器にもこれら雑貝の稚貝が多い状況ですのでご注意ください。

表 浮遊幼生調査結果

調査点 調査月日	水温(℃) 表層/10m	採取方法 (プランク トネット)	ホタテガイ浮遊幼生数 個体/m ³		その他(ムラサキガイ等)	ホタテガイ付着稚貝数
			250ミクロン未満 (小型～中型)	250ミクロン以上 (大型)	幼生数 個体/m ³	個体/袋 (投入日-回収日)
只越(唐桑) 5/9	10.6/10.0	10m層	66	27	120	408 (5/2-5/9)
		20m層	17	1	95	361 (5/2-5/9)
岩井崎 5/9	11.4/10.2	10m層	136	26	18	312 (5/2-5/9)
大前見(大島) 5/9	11.6/10.5	10m層	31	6	13	
唐島(大島) 5/9	11.5/10.5	10m層	18	1	9	
蔵内(本吉) 5/6	11.0/10.0	10m層	148	14	86	116 (4/27-5/6)
泊浜(歌津) 5/10	10.9/10.8	10m層	408	110	856	259 (5/5-5/10)

県外情報 岩手県(5/9):大型ラーバや付着稚貝の数が増加。採苗器の投入時期と予想。

次回の通報発行は5月17日頃の予定です。